

## 富丘

### しぶ さわ い せき 渋沢遺跡

渋沢遺跡は、市内の代表的な弥生時代中期の遺跡です。

富丘小学校の南側に位置し、下には渋沢湧水地と湿地帯が広がっています。道路の工事で掘られた幅0.5m・長さ60mの範囲に土坑(人が掘ったと考えられる穴)跡が、11基発見されました。

ほとんどの土坑は、直径0.5~1mの円形で袋状になっており、そのうちの2基は遺体を土器に納めて埋葬する土器棺墓であったため、ここは集団墓地であったと考えられています。

他にも、稲を刈るための磨製石包丁や木の伐採をするための大型石斧などの石器、煮炊きをするための甕や貯蔵するための壺などの土器も見つかっています。



### 歩く博物館 Fコース<富丘地区> 風祭の里を歩くコース

市役所6階文化課、郷土資料館(文化会館内)、出張所または市公式ウェブサイトなどにあります。

**HP** トップページ>市民の皆さんへ>教育・文化・スポーツ>郷土資料館>歩く博物館



### で みず 出水

丘陵の崖下の辺りから水が湧き出しているところがあり、出水と言われています。

湧水がいつまでも豊かであるようにという願いから、近くに竜神が祀られています。

一年を通して14~15℃の豊富な湧水が、にじませの養殖に向いていたため、ここに市内最初の養鱒場が造られました。

今でも、湧水量の多い年には、近くの道路で水が湧き出ることがあります。

近くには「出水の観音さん」と呼ばれる観音堂があり、その西側には1793(寛政5)年に造られた道祖神があります。



### 歩く博物館ガイドブック

全24コースの地図と解説付きです。

- 料** 500円
- 申** 市役所6階文化課、埋蔵文化財センターの窓口で
- 他** 郵送で購入したい場合は、電話またはメールでお問い合わせください。
- 問** 文化課 ☎22-1187
- ✉ e-bunka@city.fujinomiya.lg.jp

